

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ1)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 土井良 延英
日時・場所	日時：平成17年 9 月 17 日 10時～12時40分 場所：地域集会所
PI活動の種類	懇談会（空港周辺住民等）
訪問時の状況	参加者 25名 事務局従事者 説明者5名、その他10名強 参加者とは事前に連絡が取られていたこともあり、予定時間までに遅れるとの連絡があった1名を除きすべて席に着き、定刻2分前に懇談会が開始された。 利害関係者との懇談会であり、PIレポートについては要点の説明に止め、主に質疑と参加者側の意見、主張に多くの時間が割かれた。
所見 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none">PI及びPIの各ステップの説明は適切に行われた。参加者側より、PIの実施に関して出された以下のような意見については、今後考慮すべきと思われる。 雁ノ巣云々という市長の一連の発言は、PIの実施において誤解を与える可能性がある。 今回のPIレポートは福岡空港のよい面よりも問題となる面を強調するなど、レポート自体が偏っている印象を与える。 環境対策費、用地賃借料の費用側だけが記載されているが、収支で説明すべき。PIレポート記載事項に関する質問については、的確に答えることが必要である。答えられない点については、その後の対応を明確に伝える。懇談会であるのに交渉の場に近い意見が出されていたが、懇談会の趣旨を明確にし、PIとして意義ある意見は取りまとめて公表することを明確に伝えて、進行を図るようにする。PIの趣旨にそぐわないような意見、主張は制止することも必要である。